

2024 年度事業計画

【1】公益事業の部

1. 一般研究助成事業

1. 第44回一般研究助成対象者の発表論文をまとめて「がん治療のあゆみ」第44巻を刊行する。

2. 臨床研究事業

JFMC34-0601：ホルモン陽性Stage II, IIIA, 閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討（臨床第II相試験）

1. 学会発表を行う。
2. 英文論文を作成する。

JFMC41-1001-C2（付随研究）：Stage II / Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討ーオキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究ー

1. 遺伝子統合解析を行う。
2. 英文論文を作成する。
3. 検討会を開催する。
- 4.

JFMC46-1201：再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究

1. 最終論文投稿中。

JFMC47-1202-C3（付随研究）：Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 付随研究

1. 遺伝子統合解析を行う。
2. 英文論文を作成する。
3. 検討会を開催する。

JFMC48-1301-C4：再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験。

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. 最終解析を行う
3. 認定IRB（CRB）へ終了報告を行う。
4. 学会発表を行う。
5. 英文論文を作成する。

JFMC50-1701-C6：ロンサーフ（TFTD）使用症例の後ろ向き観察（コホート）研究

1. 英文論文を作成する。

3. がん治療に関する予備研究

1. 脂肪由来幹細胞を用いた癌治療の研究（非臨床研究）を行う。

4. データベース支援委員会

1. 2020年度に採択された6研究の解析を行う。
2. 解析結果の論文化・公表関連業務を行う。
3. 終了した大腸癌研究データのDBへの追加を行う。

5. 医療機器委員会

1. 第11回医療機器委員会を開催する。
2. 広報及び情報収集活動の企画及び推進を実施する。
3. 講演会事業の企画及び推進を行う。

6. 利益相反委員会

1. COI自己申告書を調査し、審査する。

7. 広報委員会

1. 当財団の事業内容や活動状況を関係者及び一般の人々に広く知らせ、認知・印象・ブランド力を上げる活動を推進する。
2. がんフェア実行委員会と連携を図り広報活動を行う。

8. 各種委員会

- 必要に応じ下記委員会を開催する。
- ・臨床試験審査委員会
 - ・財務委員会

9. 臓器別・機能別研究班（資料2参照）

1. 理事会と連携のもと肺癌・乳癌・肝臓癌・膵臓癌・胃癌・食道癌・大腸癌・免疫・がんと再生医療・医療機器・手術術式 WGを設置しネットワークを構築する。
2. 新規臨床試験実施にむけ協議を行う。

10. がん社会イベント啓発活動

第2回がんフェア開催にむけ、賛助会員・がんフェア協賛企業との結束の強化、支援いただいている方々との交流を図る取り組みについて検討する。

11. 広報・PR活動

1. 第2回がん啓発イベント企画を行う。
2. がん集学財団ニュース No. 45を刊行する。
3. SNSを活用した情報発信を行う。（YouTube、Instagram等）

【2】収益事業の部

1. 医療機器事業

1. 医療機器による試作品評価及び市販後調査の受託事業を実施する。
2. 経産省および厚労省が後援する対ベンチャー企業向け支援プラットフォームへのサポーターとしての登録を検討・実施する。